

財政収支(1-5月)

(1) 1-5月の歳入は前年同期比48.7%増、税収は同55.6%増。歳出は前年同期比95.4%増。
 (2) 結果として1-5月の財政収支は2,635.90億リラの赤字(前年同期比311.5%増)、プライマリーバランスは257.22億リラの赤字(同110.4%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-5月(A)	2023年1-5月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	10,843.91	16,121.24	48.7%
税収	8,811.56	13,711.53	55.6%
所得税	1,169.79	2,130.83	82.2%
法人税	2,593.79	2,806.93	8.2%
付加価値税(国内及び輸入)	2,657.47	4,220.01	58.8%
特別消費税	1,264.69	2,513.24	98.7%
その他税収	1,125.82	2,040.52	81.2%
税外収入等	20.32	24.10	18.6%
歳出(b)	9,597.73	18,757.15	95.4%
人件費	2,159.11	4,497.60	108.3%
物品及びサービスの購入	664.26	1,356.31	104.2%
経常移転	3,833.98	7,901.44	106.1%
資本支出	465.68	1,079.66	131.8%
支払利子(c)	1,218.85	2,378.69	95.2%
その他歳出	1,255.85	1,543.45	22.9%
財政収支(a-b)	1,246.18	▲ 2,635.90	▲ 311.5%
基礎的財政収支(a-(b-c))	2,465.04	▲ 257.22	▲ 110.4%

経常収支(2023年1-4月)

(1) 2023年1-4月の経常収支は、297.26億ドルの赤字(前年同期は203.09億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-4月の貿易収支(物品)は363.41億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は84.20億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

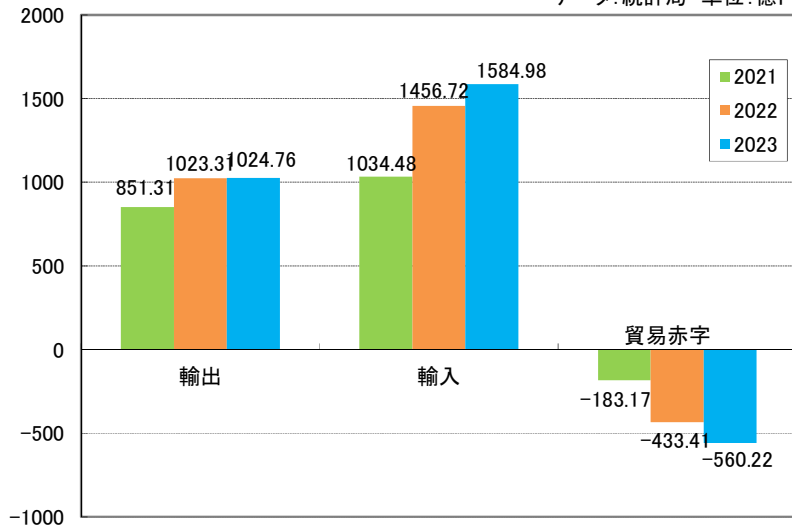
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-4月(A)	2023年1-4月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 203.09	▲ 297.26	▲ 46.4%
貿易収支(物品)	▲ 256.51	▲ 363.41	▲ 41.7%
サービス収支	90.59	105.63	16.6%
旅行収支	73.10	84.20	15.2%
第1次所得収支	▲ 32.23	▲ 38.59	▲ 19.7%
第2次所得収支	▲ 4.94	▲ 0.89	82.0%
労働者送金	0.89	0.93	4.5%
資本移転等収支	▲ 0.06	▲ 0.58	-
金融収支	▲ 121.07	▲ 364.78	▲ 201.3%
直接投資	▲ 14.36	▲ 19.05	▲ 32.7%
証券投資	55.02	15.35	▲ 72.1%
その他投資	▲ 117.24	▲ 136.63	▲ 16.5%
外貨準備	▲ 44.49	▲ 224.45	▲ 404.5%
誤差脱漏	82.08	▲ 66.94	▲ 181.6%

貿易収支(1-5月)

(1) 1-5月の輸出額は1,024.76億ドル(前年同期比0.14%増)、輸入額は1,584.98億ドル(同8.80%増)となり、この結果、貿易収支は560.22億ドルの赤字(同29.26%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-5月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は42.2%(前年同期は42.6%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は27.8%(前年同期は25.9%)となっている。

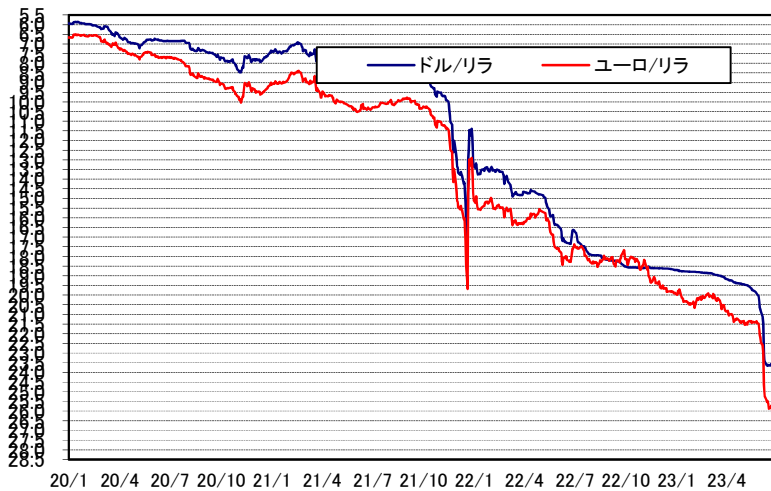
データ:統計局 単位:億ドル



為替(6月)

大統領選挙以降、リラ安が急激に進行し、6月22日にトルコ中央銀行は利上げを実施したものの勢いは止まらず、対ドル・ユーロ共に史上最安値を更新。月末は1ドル=25.82リラ(前月末比19.9%安)、1ユーロ=28.15リラ(同21.6%安)となった。

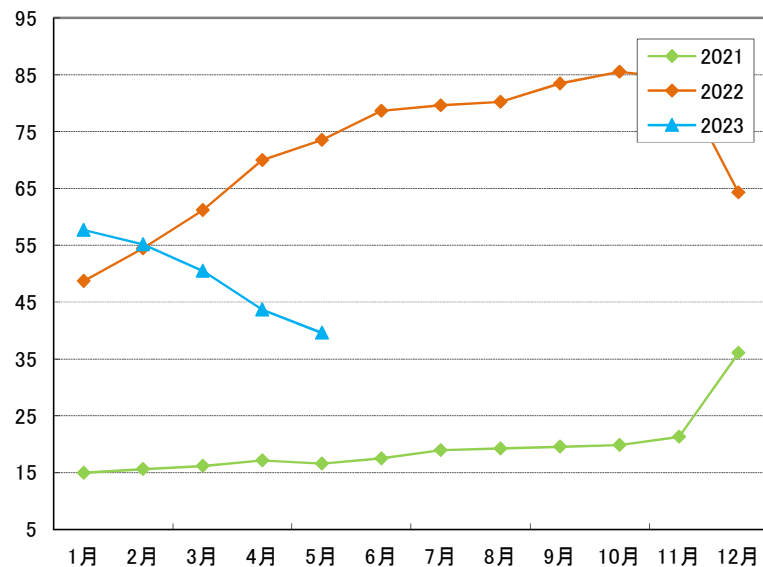
データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(5月)

- (1)5月の消費者物価は前年同月比39.59%増、前月比0.04%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比68.98%でホテル及び飲食店が、前月比9.85%で衣料が最も上昇した。
- (3)2023年末のインフレ率の中銀目標(5/4時点)は前年同月比22.3%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比40.76%増、前月比0.65%増となった。

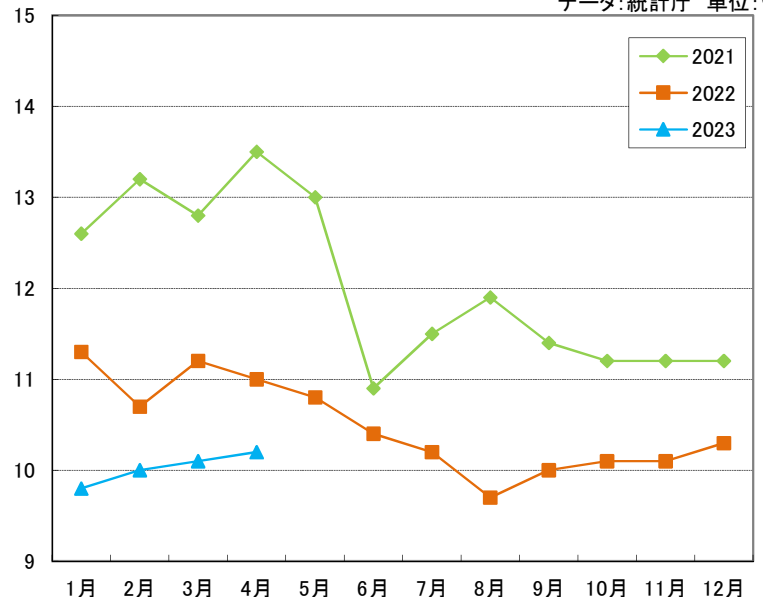
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



失業率(4月)

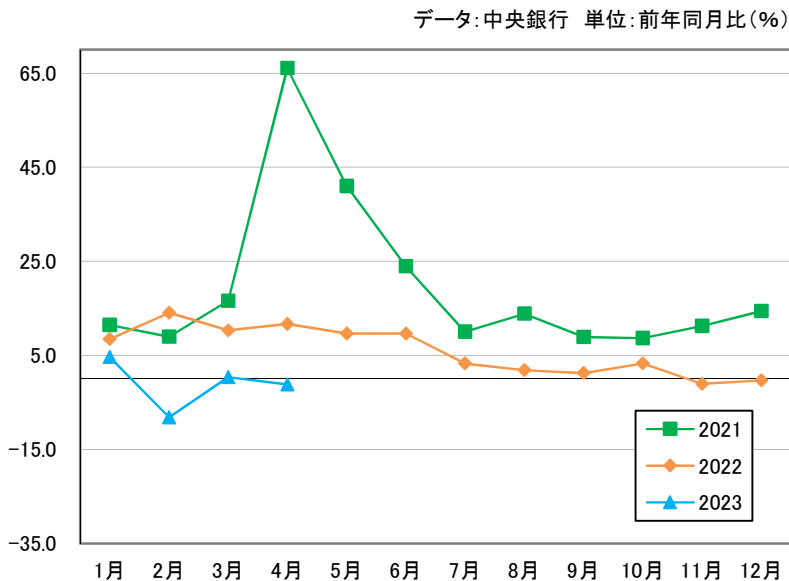
- (1)4月の失業率(季節調整後)は10.2%となり、前月から0.1ポイント増加。
- (2)労働力人口は3,519.5万人、就労者数は3,161.0万人、失業者数は358.5万人。
- (3)男性の失業率は8.1%、女性は14.3%。若年層(15-24歳)の失業率は19.1%となっている。

データ:統計庁 単位:%



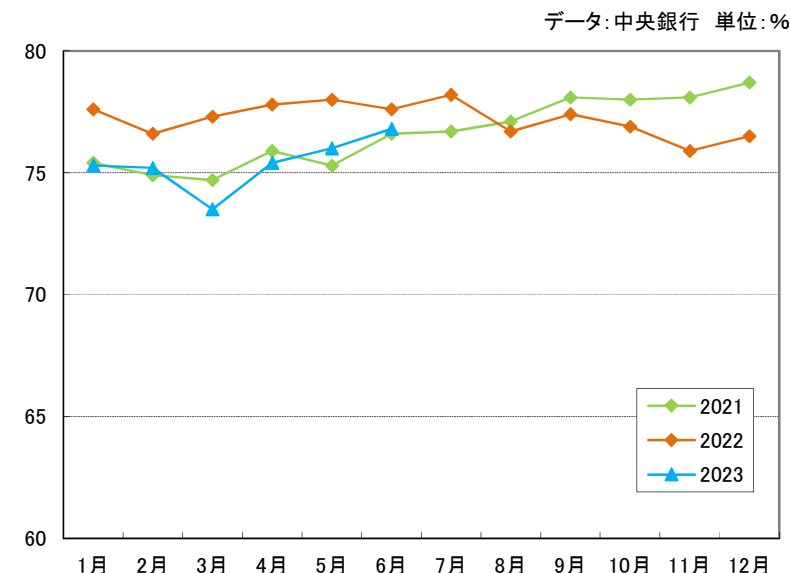
鉱工業生産(4月)

(1)4月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)1.2%減。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比4.0%増、資本財が同17.7%増、中間財が同6.2%減となった。



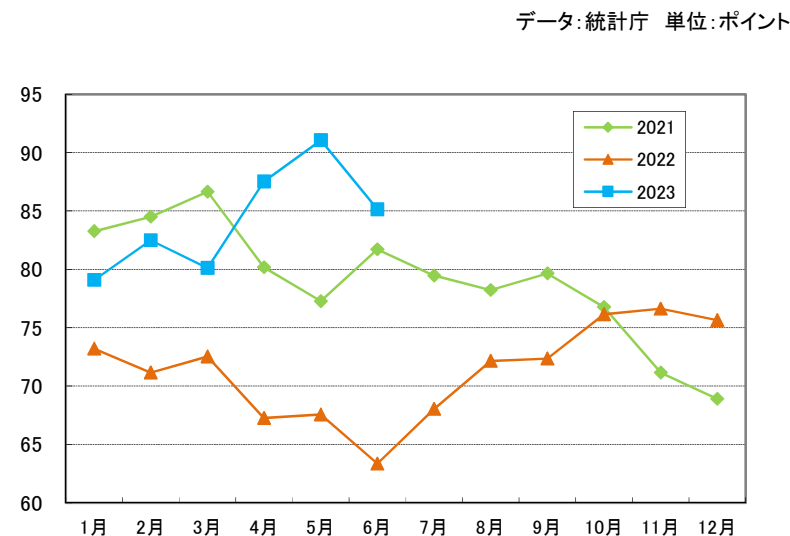
設備稼働率(6月)

(1)6月の設備稼働率は76.8%となり、前年同月から0.8ポイント減少し、前月から0.8ポイント上昇。
 (2)製造業の分野別では、たばこ製造業(82.4%)が最も稼働率が高く、印刷業及び記録媒体複製業(69.5%)が最も低い稼働率であった。



消費者信頼感指数(6月)

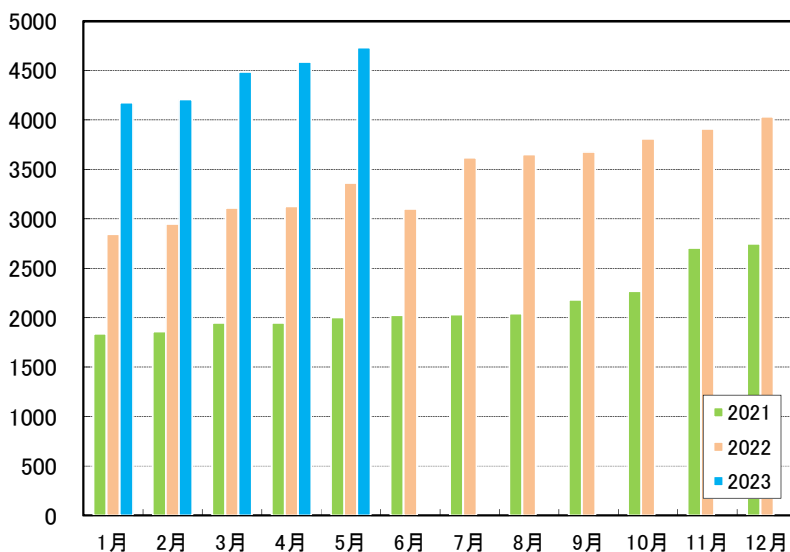
(1)6月の消費者信頼感指数(季節調整値)は85.1ポイントで、前月から6.0ポイント減少。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。



中央政府債務残高(5月)

(1)5月末時点での中央政府債務残高は4兆7,344億リラとなり、前年同月比40.8%増、前月比3.2%増となった。
 (2)また、国内債務比率は49.6%、自国通貨債務比率は37.5%(2022年末は34.5%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.9%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

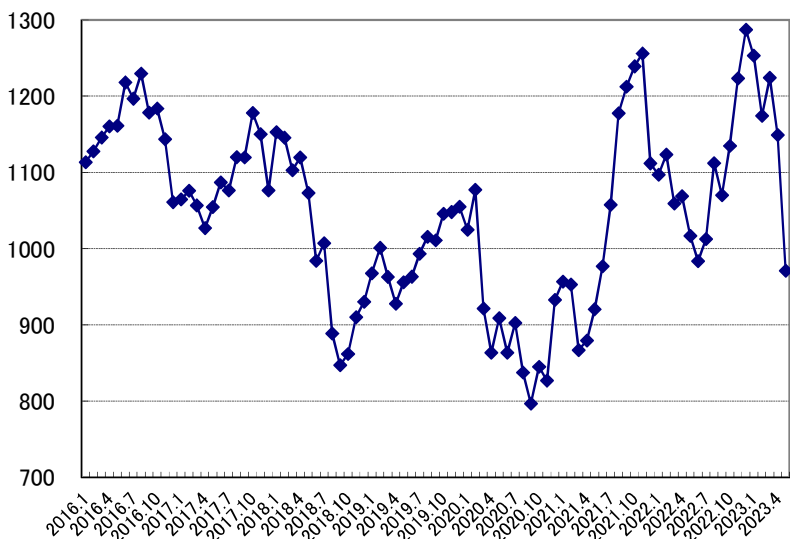
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(5月)

(1)5月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は970.80億ドルとなった。
 (2)前月から177.97億ドル減少した。

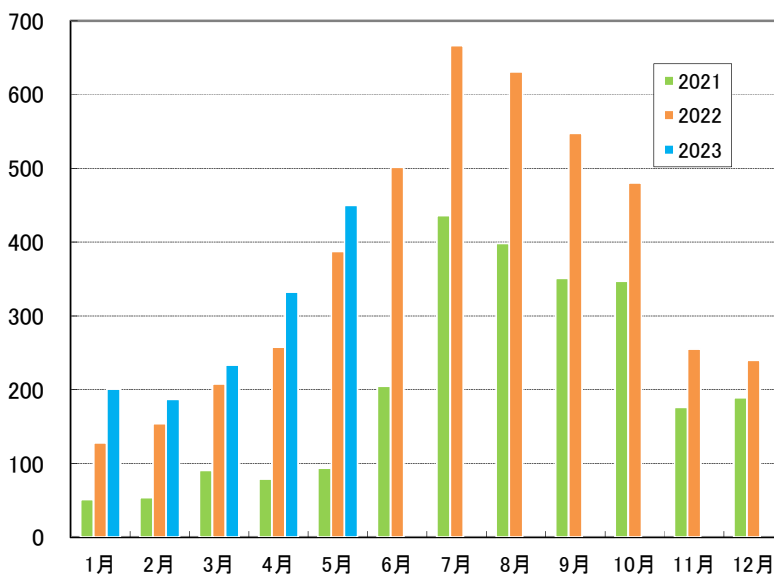
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(5月)

(1)5月の外国人訪問者数は4,500,242人で、前年同月比16.19%増。日本は5,756人であった(前年同月は2,174人)。
 (2)国別ではロシアが最も多く、640,844人で全体の14.24%を占め、以下、ドイツ(617,617人)、イギリス(452,724人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

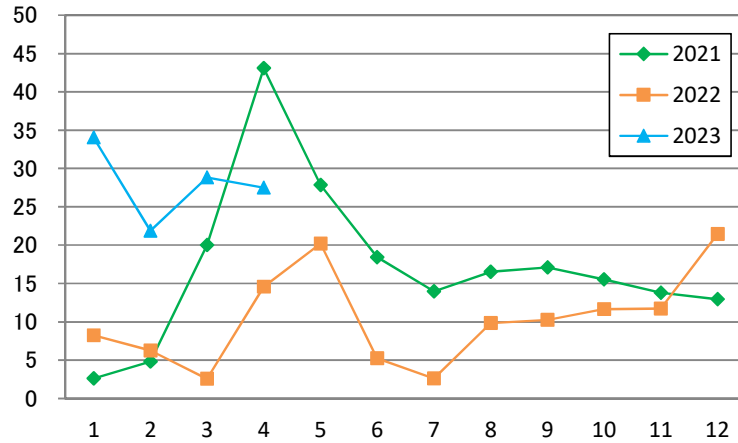


小売売上高(4月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)4月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)27.5%増、前月比(季節及び日数調整後)0.9%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比21.2%増、繊維・衣料が同14.0%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同76.7%増となった。

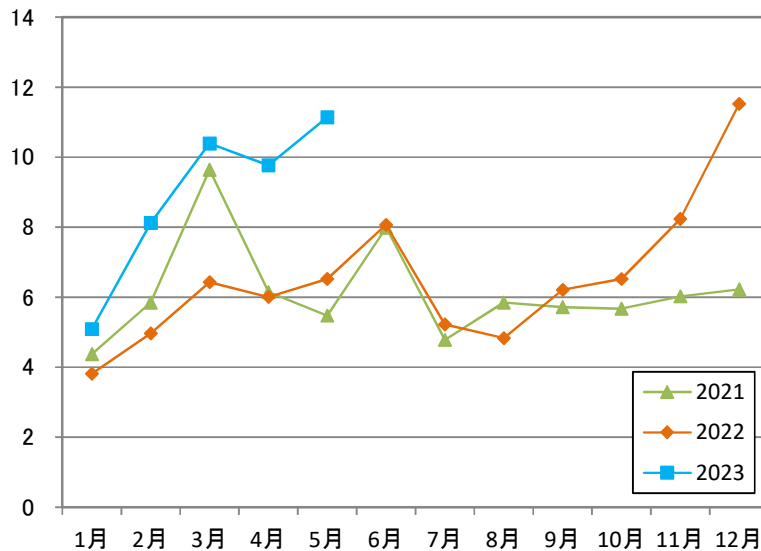


新車販売台数(5月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)5月の新車販売台数は111,356台で前年同月比70.88%増。

(2)5月の内訳は乗用車が87,218台(前年同月比68.5%増)、小型商用車が24,138台(同79.9%増)となった。



住宅販売戸数(5月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)5月の住宅販売戸数は113,276戸で前年同月比7.73%減となった。

(2)5月は新築が34,413戸(前年同月比4.7%増)、中古が78,863戸(同12.3%減)。

(3)5月の住宅ローンでの購入は27,476戸(前年同月比6.3%減)、その他が85,800戸(同8.2%減)。

